



学校法人東北文化学園大学 広報誌 Vol.18

RENAISSANCE



NEWS

東北文化学園祭 開催

前日の雨もすっかりあがった10月23日。震災の影響で例年2日間開催される学園祭は今年は1日だけ。それでもダンスやライブ、お笑い芸人によるイベントが盛り上がり、会場いっぱい、屋台と明るい笑い声が響きます。このにぎやかな学園祭が今年も開催できることの幸せを学園生はみんな感じていることと思います。

高校生たちが「私たちにできること」を語りました。

学園祭と同時開催された「震災復興支援提案募集事業 高校生スピーチの部」最終審査会では、1次審査を通過した7人の高校生たちが震災から復興に対する「自分たちができること」への考えを力強く訴えていました。

避難所生活の経験から、人の手助けをする職業に就きたいという自分の将来を描き始めた佐沼高校の熊谷さんは、当時を思い出し涙を浮かべながらスピーチをやり遂げました。

スピーチお疲れ様でした。話の途中でつらいことを思い出したんですね。

(熊谷)「家族はみんな無事だったんですけど、家の中はめちゃくちゃで、家がお寺なのでお墓がみんな倒れてすごかったです。そのあとはずっと避難生活で、そこでの生活は何かを考える暇もなかったです。まずはご飯を食べることで精

一杯で、おばさんたちと避難してきた250人分の食事を作りました。そのご飯をご年配の方から配って、それから私たちが食べて。それと、水を汲んできたり、とにかく凄まじかった。さっき、話をしながら当時のことを思い出して、突然涙が出てきて止まらなくなりました。おかげでちゃんとスピーチすることができました。(笑)。

避難所は大変なところですけど、それでも近所のおばちゃんたちと寄り添っている安心感がありました。みんながいたからあの状況でも笑顔があったし、一人だったらとても耐えきれなかったと思います。」

助けが必要な人の役に立ちたい。将来の夢は言語聴覚士になること。

今回の経験は熊谷さんに何を残しました？

(熊谷)「私は今回の経験で、これから何をすべきなのかを考えるようになりました。その中で、お年寄りや助けが必要な方に役に立つ人間になりたいと強く思うようになりました。今は声をうまく出せない人や聴覚に障害がある人の手助けをする言語聴覚士になろうと思って勉強しています。人が集って生活する中に生まれるコミュニケーションを手助けできる人になりたいと思います。」

避難所での辛い生活も貴重な経験だったと語る熊谷さん



熊谷 凛

震災復興支援提案募集事業 高校生スピーチの部の結果 【優秀賞】 横山 栞さん 常盤木学園高等学校1年 「私たちにできること」
【特別賞】 佐々木翔一郎さん 岩手県立花泉高等学校2年 「未来に繋げる為に」 【審査委員特別賞】 熊谷 凛さん 宮城県佐沼高等学校1年 「自主避難所生活を体験して」

「みなさんの提案は、人と人とのつながりを本当に大事にしている。その姿勢に、頼もしさと希望を感じる。未来につないでほしい。」審査委員長総評より。

6月に開催した震災復興市民フォーラムでは、「若者と語ろう」というテーマを掲げ、「今、わたしたちは何ができるのか」というメッセージを本学園生たちへ投げかけました。学園祭にて発表会が催された「震災復興支援提案募集事業 研究テーマ募集の部」は、本学園生たちが考える復興ビジョンを可視化し、その真価を問う機会です。自分のアイデアを学内外の専門家に問い、評価を真摯に受け止めて、自らが主体性を持つてこれからの東北の復興新仕に寄与できる準備ができてゆくのだと思います。



堀江 紗夕望さん
大学 人間環境デザイン学科
米沢高等学校卒

題材にしたのは「巨理いちごっこ」という、食事を被災者に無償提供しているボランティアカフェです。すでにボランティアのための基地になっているこの場所に、現地調査による実情を根拠に必要とされる機能を付加し、再構築した提案です。いちごっこ代表の馬場さんにもアドバイスをもらい、現実を見つめて作品にとりくみました。今後どこかで起きるかもしれない災害に役に立てる機能を提案できればと思います。



優秀賞 「石巻～Nakaze～」



三浦 航介さん (前列右)
専学 建築科
石巻工業高等学校卒

震災の復興で町を盛り上げようと思って設計しました。津波で辛い思いをした地元の人間だから感じるものがあると思うんです。だから、被災地の人たちの気持ちを癒さないようによく考えました。今の石巻は建物をなかなか建てられないけど、それでも何かをやらないと始まらないと思って、町の計画を提案してみました。写真はチームメイト。大概大樹さん、高坂直樹さん、藤原茜さん。



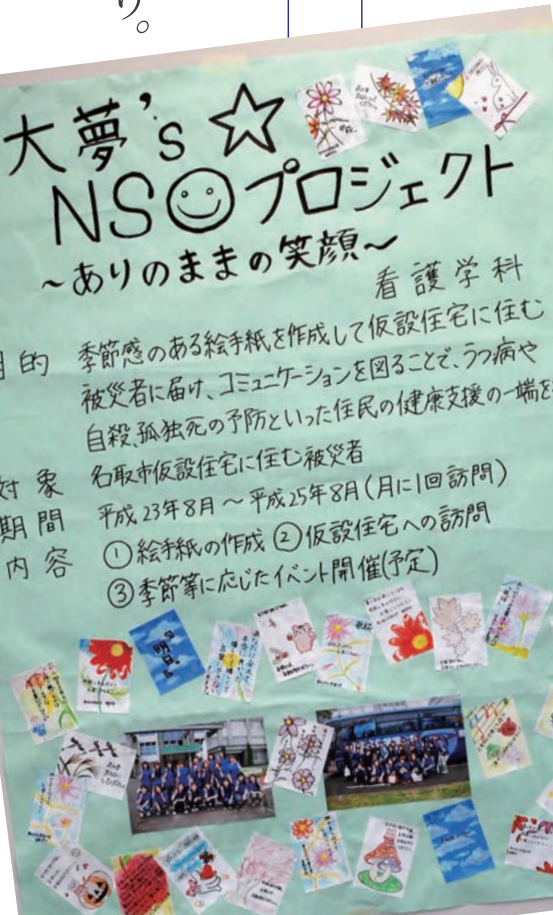
千葉 浩介さん
大学 人間環境デザイン学科
相馬高等学校卒

新地町の自宅 1 階が被災しました。家族は無事でよかったのですが、地元の町は壊滅状態でした。この大きな震災で命を亡くした方々への鎮魂とともに、これからずっと忘れずに後の人に伝える必要があると思います。そういったメッセージを込めて地元には慰霊碑を建てるプランを考えました。



優秀賞 「NS プロジェクト ーありのままの笑顔ー」

佐藤 真紀さん (後列中央) 大学 看護学科 柴田高等学校卒
被災された方に季節感のある絵手紙を送るというプロジェクトです。集団生活の避難所から仮設住宅に移ると孤独感に襲われる人が多いと聞きます。そんな寂しい仮設住宅に季節を感じるその人を思いやる絵手紙が届けば心が潤うと思うんです。さらに私たちが現地に届けることでコミュニケーションも生まれると思います。家族を亡くした方も一人じゃないと思ってもらえると思うんです。これまで何回か絵手紙を届けました。実際に心が安らいだという感謝の言葉を聞いて、このプランは実感をもって計画しました。これからも取り組みを進めていく計画です。絵手紙のやり取りをきっかけに互いに思いやるコミュニティが生まれたらいいなと思っています。写真は佐藤さんのチームメイト。佐藤真希さん、黒田紗恵子さん、鈴木結菜さん、土田亜直音さん。

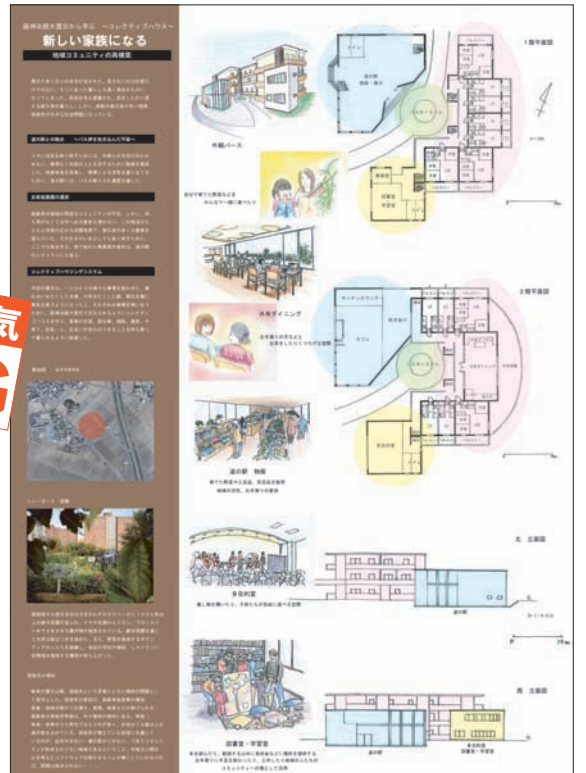


優秀賞 「ふおへと ～ボランティアベースキャンプ～」



藤田 里美さん
専学 インテリア科
弘前工業高等学校卒

いろんな建物を集約するので動線や家族の方と高齢者の方の距離感を考えるのに苦労しました。それと、実際の設計では、この部屋はどうするとか、この寸法は・・・とかいろいろ考えていくと土地に入りきらないとか、自分の考えが成り立たないなどの経験をして、とても勉強になりました。



優秀賞 「阪神淡路大震災から学ぶ ～コレクティブハウス～ 新しい家族になる 地域コミュニティの再構築」



佐藤 優さん
大学 人間環境デザイン学科
宮城広瀬高等学校卒

テーマは住宅環境の問題点を改善するためのコミュニティづくりです。整然と無機質に並んでいる仮設住宅を見直すことで住む人同士のコミュニティがつくれると思います。今回評価されてとてもうれしいです。現実を考えながら設計するのはとても難しく、真剣に取り組みました。

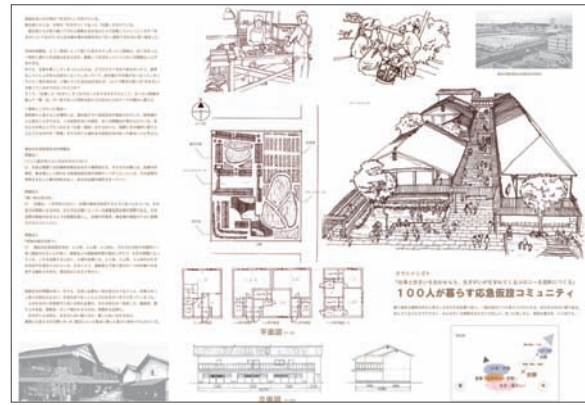


奨励賞 「巨理町仮設住宅改造計画 ～温か味のある空間を求めて～」



斎藤 大暉さん
専学 インテリア科
保原高等学校卒

場所は長町の仮設住宅に隣り合う場所です。計画を隣接させ従来の仮設住宅環境と比較検討することで、不足部分をもっとみんなで考えるきっかけになればいいなと思ったからです。仕事場も設けるといことで、仮設の町でも活気が生まれるキッカケになればという願いを込めました。



奨励賞 「100 人が暮らす応急仮設コミュニティ」



大井 崇司さん
大学 総合政策学科
東北学院高等学校卒

一か所で買い物ができる温泉が魅力的なリラックスできる商業空間を提案しました。これはずっと以前から描いていたプランなのですが、今回の震災で私の自宅も、作品のチームメイトも津波被害を受け、彼とその経験を踏まえて、このプランを石巻の再生に再構築してみましたとなりました。



奨励賞 「元気復活！ 温泉プロジェクト」

視能訓練士

東北文化学園 シリーズ「卒業生」

宮城県仙台市の東北厚生年金病院の眼科で働く目黒真理子さん。視能訓練士になって11年、子どもからお年寄りまで様々な患者さんに眼の検査を行います。

「検査結果が医師の検診の役にたつて、患者さんに喜んでもらえることもやりがいを感じますね。」

も仕事です。あとは患者さんの目の機能を最大限にいかす補助具（メガネやコンタクトレンズ）の選定や使い方の指導も行います。働く職場によつては眼疾患の早期発見や早期治療のための健康診断を担当することもありますね。」

Q 視能訓練士とはどんなお仕事ですか。

「視能訓練士の仕事に興味をもったのは、看護師だった母の影響ですね。高校生の時、母の働く姿を見たり話を聞いて医療者の仕事に携わりたいと思うようになりました。そこで母と相談した時に視能訓練士へのすめがあったんです。それまでは視能訓練士という名前も全く知らなかったのですが、仕事の内容を調べうちにどんどん興味ができてきたんです。学びの中心については理系分野が苦手だったので心配でしたが、国家試験の出題範囲を確認すると、苦手な分野はなさそうだったので、なんとか自分でもやれるかなと思いました。ただ、実際の試験対策になってからはそんな余裕はありませんでしたね（笑）」

Q 視能訓練士の幅広分野にわたって勉強できたのが本当によかった。今の仕事に生かされています。学生のときは家から近いのがメリットでしたけど（笑）働き出したら、宮城県内や近隣の眼科に卒業生がたくさんいるのが本当に心強いですね。」

Q 高校生にメッセージをお願いします。

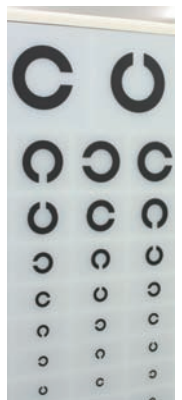
「医療の仕事には向き不向きがあると思います。特に眼科には、お年寄りから若い子供まで様々な方が訪れます。患者さんとコミュニケーションをとりながら症状・状態を把握し、検査を行うので、初対面の人とも應ずることなく話せるような人が視能訓練士にむいていると思います。」

◇コラム◇

ランドルト環

眼の検査のときによく見る「C」マークは、ランドルト環といえます。隙間が開いている部分が上・下・右・左とあり、その開いている部分が見えるかどうかで視力を判定します。ランドルト環の、ランドルトとは人名で、フランスの眼科医エドモンド・ランドルト (Edmund Landolt 1846-1926) によって開発され、彼の名前がそのまま名称となっています。1909年(明治42年)、イタリアで開かれた国際眼科学会にて採用され「国際標準ランドルト氏環」と呼ばれています。

視力の判定はランドルト環の切れ目が見えるかどうかが判定の基準となるので、視力を判定するときCのマークがにじんだり、ぼやけていても切れ目がわかれば「見えている」こととなります。



東北厚生年金病院 眼科勤務
視能訓練士 目黒 真理子さん
専門学校 視能訓練士科 平成 11 年度卒業生
日本大学山形高等学校 卒業



Beethoven Symphonie No.9

入場 無料

ご家族ご友人とご一緒に、お気軽にご来場ください。

とどけ歌声！わたしたちの未来に！

大船渡 第九コンサート

主催：学校法人 東北文化学園大学 後援：大船渡市教育委員会 協賛：アイリスオーヤマ株式会社

指揮 篠崎靖男 管弦楽 東北大学交響楽団

合唱 東北文化学園混声合唱団 東北大学混声合唱団有志 大船渡市・仙台市民有志

12月16日(金) 16:00より

リアスホール(大船渡市民文化会館)

帰還報告コンサート 12月17日(土) 16:00より 東北文化学園キャンパス

お問い合わせ 総務部 022-233-3330

本学園では、東日本大震災からの復興と新生への活動として、文化芸術を通じた取り組みを進めています。そして、12月に大船渡市民文化会館「リアスホール」にて、大船渡市教育委員会の後援を得て、第九の合唱コンサートを開催いたします。このコンサートにはロンドン在住の世界的指揮者 篠崎靖男氏がボランティアとして参加し、また東北大学の交響楽団と混声合唱団、大船渡市と仙台市の有志の方々の協力を得て、本学園大学と専門学校の学生たちが、未来につながる歌声をとどけます。

入場は無料です。ぜひ、ご家族ご友人をお誘いあわせ、お気軽にご来場いただきますようご案内申し上げます。



東日本大震災に伴う平成24年度受験生及び入学生に対する特別措置について。

本法人では、東日本大震災で被災した東北文化学園大学および東北文化学園専門学校の受験生を対象に入学検定料免除、入学生を対象に入学金免除及び授業料免除の特別措置を実施することとなりましたので、お知らせいたします。なお、本特別措置は、7月に発表しておりました入学検定料免除及び入学金免除措置に加え、入学金免除措置対象の拡大及び授業料免除措置を追加いたしました。また、授業料免除の特別措置の手続き等については、入学予定者に直接連絡いたします。※大学の授業料免除には、実験実習費及び施設設備費は含みません。※専門学校の授業料免除には、施設設備費は含みません。詳しくはHPをご確認ください。

対象者		入学検定料	入学金	授業料
東日本大震災により主たる家計支持者が死亡又は行方不明の方		全額免除	半額免除	後期授業料
東日本大震災により主たる家計支持者が	住居が全壊			全額免除
所有する住居が被災した方	住居が大規模半壊または半壊	全額免除	半額免除	後期授業料
福島原子力発電所の事故に伴い政府指定の	警戒区域			半額免除
区域に主たる家計支持者が所有する住居が	計画的避難区域			
あり、居住することが困難と認められる方	緊急時避難準備区域	全額免除	対象外	対象外

実学的教育をモットーに社会に貢献できる人材を育成。

東北文化学園専門学校

医療・福祉・保育士・医療事務 分野
臨床工学科・視能訓練士科・こども未来科・介護福祉科・福祉コミュニケーション科・社会福祉科
診療情報管理士科・医療秘書科・医療情報管理科

建築・インテリア・環境
建築科・インテリア科・福祉住環境デザイン科
環境エクステリア科・バイオ環境科・建築士専攻科

修学支援 東日本大震災に伴う入学検定料及び入学金・授業料の免除特別措置（本ページ中段記事）
姉妹校入学優遇制度・兄弟姉妹等入学優遇制度（入学金全額または半額免除）
東北文化学園専門学校奨学金制度（年間60万円・36万円・12万円）ほか

Ⅳ期入試

出願期間：12月12日(月)～1月17日(火)
試験日：1月21日(土) 合格発表：1月27日(金)

V期入試

出願期間：1月23日(月)～2月14日(火)
試験日：2月18日(土) 合格発表：2月24日(金)

入学試験に関する詳細は、進学センターまたは専門学校事務部入試係 022-233-7951 までお問い合わせください。

学部が連携しあい総合的に学べる大学。

東北文化学園大学

科学技術学部

人間環境デザイン学科 知能情報システム学科

総合政策学部

総合政策学科

医療福祉学部

リハビリテーション学科

理学療法専攻 作業療法専攻
言語聴覚専攻 視覚機能学専攻

看護学科

保健福祉学科

保健福祉専攻 生活福祉専攻

一般推薦(Ⅱ期)

出願期間：12月6日(火)～12月20日(火)
試験日：1月6日(金)
合格発表：1月12日(木)

センター試験利用(前期)

出願期間：1月10日(火)～1月26日(木)
試験日：1月14日(土)・15日(日)
合格発表：2月15日(水)

一般選抜前期日程

出願期間：1月10日(火)～1月26日(木)
試験日：2月7日(火)
合格発表：2月15日(水)

※一般選抜前期日程は複数会場で実施されます。その他、一般選抜後期日程、センター試験利用(後期)、自己推薦、社会人特別選抜、大学院入試等の日程等、詳細はHPをごらんください。

【進学センター】 0120-556-923

TEL：022-233-8173 FAX：022-233-8409
URL：http://www.tbgu.jp E-mail：nyugaku@office.tbgu.ac.jp
981-8551 宮城県仙台市青葉区国見 6-45-1